

いっしょ!! 広西のエコ力で素敵な復幸を!! "エコハートから考える復幸" 広西エコっちょお2017

「広西エコっちょお2017」成功に向けて

広安西小学校 学校版環境ISO宣言目標

- 【全校行動目標】
- 落し物をしません
 - ゴミをへらします
 - 水・電気の節約をします
 - 地域のエコ活動に進んで取り組みます



- 【職員行動目標】
- パソコンのシャットダウン!!
 - 紙のコストダウン!!

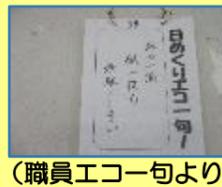


- 【数値目標】
- 電気代を前年の同じ月と比べて5千円少なくします
 - 水道代を前年の同じ月と比べて5千円少なくします
 - ゴミの量を毎日18kgを超えないようにします



- 【手立て】
- 必要以外の電気を消す
 - 昼休みは電気を消して外で遊ぶ
 - 掃除のときはバケツに水をためる
 - 自分の物には名前を書く

全校行動目標では、落し物をしないこと、ゴミを減らすこと、水・電気の節約については気づくハートをさらに温かくする活動として、地域のエコ活動に進んで取り組むことについては、知るハートと見つめるハートをさらに温かくする活動として結びつけた。



2 行 動

気づくハートを深める活動～広西エコっちょお2017

全校行動目標の「落し物をしません」、「ゴミを減らします」、「水・電気の節約をします」の項目を「気づくハート」を育てることと関連させ、意識→実践→広げるの順で様々な環境活動に取り組み、自分の生活そのものが環境活動であることを個々が常に考えられるようにした。

意識するための取組

毎日一人ひとりが意識しやすい環境活動を考え、呼びかけながら生活には環境が密接に関わっていることを意識できるようにした。

1 職員の取組

職員がよく使用するパソコンによる電気と紙の削減について、無駄を省く意識が持てるようにした。

○紙の切れ端

授業等で使用した画用紙などの切れ端を集め、菜作りに役立てている。



○シャットダウン

帰宅する際はパソコンをシャットダウンするように心がけている。



本校が日々意識して取り組む基本の活動である。

○電気の節約
必要以外の電気は消すようにしている。



○水の節約
バケツに水を汲み掃除をするようにしている。



3 ごみの節約の取組

進んで校舎内のごみを拾ったり校内のごみを量ったりする姿が見られた。

○ごみ拾い
進んで校内のごみを拾う児童もおり、少しずつごみへの意識も高められている。



○ごみの計測
校内のごみがどれだけあるのか、毎朝登校後に調べている。



実践して深める取組

日々の意識を高める活動が生かされるような実践的な活動に取り組んでいる。

4 落し物ZERO作戦

落し物は本校の大きな課題でもある。環境委員会が校内で出た落し物を各クラスに持って行き、落し物を見てもらい、自分の物があれば取るようにしている。落し物がごみにならないようにしている。



5 各委員会 with K(環境委員会)の取組

今年度は、学校生活を支える16の委員会すべての活動が環境活動と関わっていることから、各委員会の環境目標を決め、環境委員会と同じような呼びかけや活動を行っている委員会とコラボレーションを行った。

掲示委員会→掲示物に使う色紙の無駄をなくします	放送委員会→放送室の電気を消し忘れません
図書委員会→本を大切に、電気をこまめに消します	運営委員会→昼間はカーテンをあけて作業をします
給食委員会→牛乳パックのリサイクルをします ○給食の食べ残しを減らします	生活委員会→○自分の物名前を書きます ○水の出しっぱなしをしません
体育委員会→昼休みは外で遊ぶときに教室の電気を消します	集会委員会→どんぐりを利用して、どんぐりごまやリースを作ります
整備・美化委員会→無言掃除を呼びかけます	ベルマーク委員会→いらないカートリッジやテラパックを集めてごみを減らします
音楽委員会→はやりの歌を環境バージョンにして音楽集会で歌います	人権委員会→繋がっている人がいることを頭において環境・資源・モノを大切にします
栽培委員会→必要以上の水を使いません	保健委員会→電気をこまめに消します
ボランティア委員会→落ち葉拾いをした後にその落ち葉を肥料にします	環境委員会→全校に楽しく環境のことを伝えます

○図書委員会 with K

画用紙の切れ端など紙の残りを取って置き、菜作りの体験活動を全校に呼びかけて行った。



○生活委員会 with K

生活委員会による朝の校門でのあいさつ運動時に環境委員会と落し物を減らす呼びかけを行った。



○保健委員会 with K

全校で行っているノーテレビ・ノーゲームデーで早寝早起きライトダウン作戦を行っている。



今年度の広安西小学校の環境教育の考え方

気づくハート

日ごろから環境と関わりながら生活していることに気づくハート

知るハート

さらに環境のことを知るハート

見つめるハート

自分たちを取り巻く自然や地域を見つめるハート

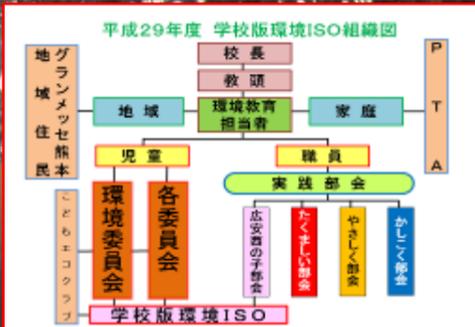
各ハートをさらに温かいハートに

3つのハートについて「意識」→「実践」→「広める」の流れで取り組む

熊本地震から1年半が過ぎた。熊本地震より、改めて生活することの素晴らしさを感じる今、「生活こそが環境活動である」ことを自然に意識するために、「気づくハート」、「知るハート」、「見つめるハート」の中に、「意識し」、「実践して」、「広める」という段階を踏んで取り組み、より一人ひとりの生活に環境が身近になるように考えた。



広安西小学校版環境ISOに向けての計画と組織

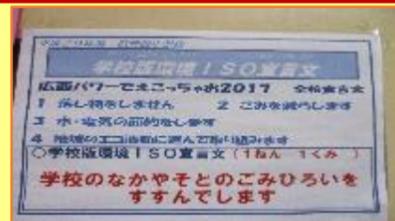


○環境教育全体計画では、「気づくハート→生活そのものが環境活動の取組」、「知るハート→水俣に学ぶ肥後っ子教室の取組」、「見つめるハート→ESD(持続可能な開発のための教育)の取組」の3本柱に様々な教育活動が弾力的に関わることができるよう作成している。

○組織図では、「児童」の「委員会」と「各委員会」の言葉を入れ、学校生活を支える各委員会の活動を環境と関わっていることを明確に示した。また、学校・家庭・地域が連携し合えるように作成している。

6 クラスの環境目標

各クラスで実態に応じた環境目標を決めて取り組んでいる。今年度は、自分の物を大切にしようという環境目標が多く、物がごみにならないように考えているクラスが多いことが分かった。



広めるための取組

全校で取り組んできた活動から、互いに共有し合ったり、家庭と連携して取り組んだりして広める取組を行った。

7 環境体験活動の取組

全校児童もよく知っている「たこさんたわし作り」を今年も行った。アクリル毛糸をたこ状にしたたわしで、異学年が教え合っただけで、交流を図りながら作ることができた。



8 環境の日の取組

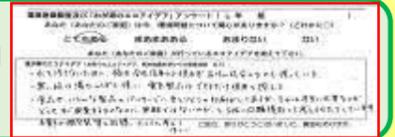
毎月1日を「環境の日」とし、全校で環境を考えるきっかけとしている。この日にペットボトルキャップ集めをしたり、この日から環境の取組をスタートさせたりしている。



9 家庭との取組

各家庭との取組である。今年度は昨年の熊本地震によりできなかった美化作業と有価物回収の取組が2年ぶりにできた。

○エコアイデア
家庭向けの環境通信「えこっちゃんお通信」を通して、エコアイデアを募集したり、環境意識調査をしたりすることができた。



○美化作業
夏休みに親子で学校をきれいにする活動である。出た草や葉っぱは堆肥にしている。



○有価物回収
親子で自分の地区を回り、有価物を回収する活動である。回収後は手分けして、細かく分別する。



知るハートを深める活動～広西版水保に学ぶ肥後っ子教室～

全校行動目標の「地域のエコ活動に進んで取り組みます」の項目を、「知るハート」を育てることと関連させ、意識→実践→広げるの順で自分たちが考えて学んだことを、地域の人に広げる活動を行った。

意識するための取組

自分たちの地域で起きた環境問題について知り、意識することで様々な環境問題について学び、伝えることに繋げていく活動を行った。

水俣のくらしを知ろう

5年生では、環境都市である水俣のくらしを学んでいる。現地に行く前に、なぜ環境を考える水俣になったのか、水俣のくらしについて考えた。



実践して深める取組

実際に水俣に行き、くらしを肌で感じ、体験する活動を行った。

水俣での学び

5年生は実際に現地に行き、環境に関する体験や水俣の人々のくらしを肌で感じてきた。職員も研修を行った。



広めるための取組

自分が知り、学んできたことをたくさんの人に知ってもらおう活動を行った。

たくさんの人に伝えよう

5年生は、これまで学んだことを壁新聞にまとめて4年生に伝えたり、学習発表会で全校や地域の方に伝えたりした。



見つめるハートを深める活動～広西湧き水プロジェクト～

全校行動目標の「地域のエコ活動に進んで取り組みます」の項目を、「知るハート」を育てることと関連させ、意識→実践→広げるの順で、地域にある大切なものを未来へ繋げていく活動を行っている。

意識するための取組

環境委員会が5年前から、地域の宝を未来に残す活動として湧き水を守る活動を行っている。

湧き水水質調査

この学校区では、湧き水が多くでている。環境委員会では、湧き水を未来に残していくために水質調査を実施し、湧き水が綺麗な状態であるかを確認する活動を行っている。



実践を深める取組

環境委員会自ら、湧き水のよさをさらに知るために取組を行っている。

湧き水いれとご見つけます！

時間を見つけ、環境委員会は調べている湧き水の周辺の掃除を行ったり、地域の方に湧き水のことについて教えてもらったりして、湧き水のよさを見つけている。



広めるための取組

湧き水のよさを全校やたくさんの方に広めるための活動を行っている。

湧き水いれとご広めます！

湧き水を掃除の時間に各学級で使用したり、花の水に使用したりした。

○湧き水で掃除

湧き水を各学級分準備し、掃除時間に使用するように呼びかけを行った。



○湧き水で花に水やり

環境委員が1年生と一緒に1年生が育てている花に湧き水で水やりを行った。



3

記

録

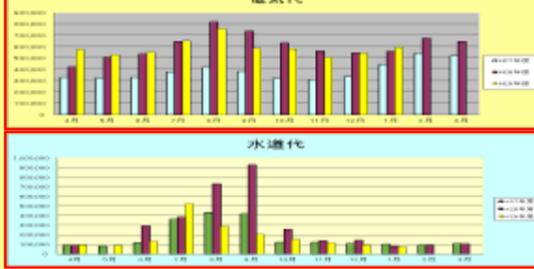
記録では、電気や水の節約、ごみの量、各クラスの環境目標チェック、早寝早起きライトダウンチェックを行った。

電気・水チェック

昨年と比べ、電気・水の代金ともに減っている。



水道の蛇口が閉まっているか、記録しています！



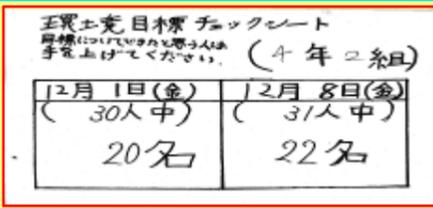
ごみ減量チェック

毎日登校後に計測した結果をグラフにしてみた。昨年度の同じ時期と比較してみると、今年度ごみの量が減っている。今後も計量していく中で、どの時期が多いのかなど調べ、確実にごみを減らしていきたい。



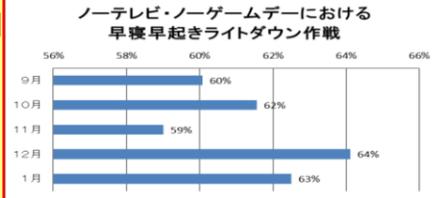
クラスの環境目標チェック

各学級で決めた環境目標について、学級全員がきちんと心がけて行動していたかチェックを行った。引き続き意識して取り組んでいきたいと考えている。



早寝早起きライトダウンチェック

ノーテレビ・ノーゲームデーの時に、夜10時までに電気を消して寝た人をチェックした。全校のうちの半分は実行している。今後は7割目標で取り組んでいきたい。



4

見

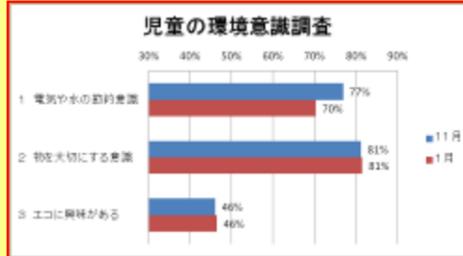
直

し

見直しについては、環境委員会で随時行うほか、委員会時の話し合いの時にやってきている。また、全児童や各家庭へのアンケート、職員の教育反省より見直し、今後の環境意識向上に努めている。

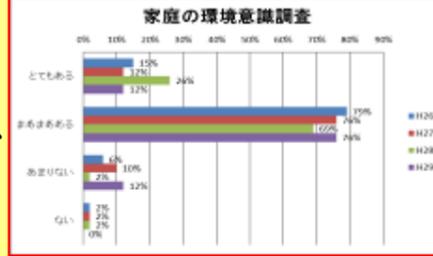
児童の環境意識調査から

児童の環境意識調査を2回実施した。物を大切にする意識が高くなってきている。この意識を大切にしながら電気や水の節約、そして半分を切っている環境への興味を高めていくことが課題であると考えている。



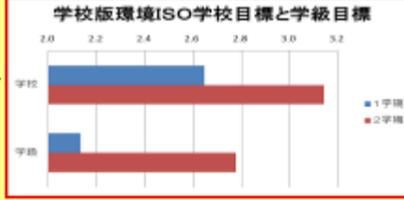
家庭の環境意識調査から

過去4年間の環境意識調査から今年度を比較してみた。4項目を「ある」と「ない」の2項目で考えると、「ある」が9割前後に達している。エコ活動に工夫を取り入れ、家庭への環境意識をさらに高めていけるよう考えていきたい。



職員の教育反省から

学期ごとの職員による教育反省より、「学校版環境ISOの学校目標と学級目標」について、1学期より2学期は大きく上がっており、職員の環境への意識が高まってきたと考えている。



成果と課題

今年度は前年度に比べ、全校の環境ISO宣言目標になっている「ごみや落し物」、「電気や水」の数値目標に少しずつ近づいている傾向が見られた。活動の各取組の成果が出てきているのではないかと考えている。児童の環境への興味が半分以下であるので、児童の興味を持たせる工夫により、さらに目標に近づけるのではないかと考えている。熊本地震による復興が続いているが、エコハートで「復幸」にしていきたい。